

2022年度 日本工学院専門学校											
建築学科											
CAD・CG制作											
対象	4 年次	開講期	後期	区分	必修	種別	実習	時間数	60	単位	2
担当教員	瀧川 慧 他			実務経験	有	職種	建築設計／一級建築士				
担当教員紹介											
ゼネコンにて、医療施設・商業施設・集合住宅等の意匠設計業務に従事したのち、大学での助手を経て日本工学院専門学校専任講師。建築設計やBIMを担当し、VR・AR等様々な最新技術を取り入れた教育を実践する。											
授業概要											
この授業の前半では実際にBIMソフトウェア（Autodesk Revit）を利用して、グループでの共同作業と、数量集計表・シミュレーションを作成する。後半では自作を題材に、断面パースやアクソメ、アニメーションなどを作成することにより、Autodesk Revitを利用したプレゼンテーション技術の獲得を目指す。											
到達目標											
建物の設計、監理、維持管理といった業務に必用となるBIMソフトウェア（Autodesk Revit）の操作技術の獲得を目標とする。そのために授業を通して以下の実践的なスキルを身につける。 ・Autodesk Revitをりようしたグループでの作業ができるようになること。 ・モデリングデータから、数量集計表やシミュレーションが作成できるようになること。 ・断面パースやアクソメ、アニメーションなどが作成できるようになること。”											
授業方法											
・基本操作を学ぶ回では、教員が解説を行い、学生は解説と同じように作業を行う。 ・解説と作業を繰り返し行い、スキルを身に着ける。 ・応用回では、今まで身に着けたスキルを用いて、各自モデリングを行う。 ・動画等を用いて、最新技術の紹介を行う。											
試験・課題 50% 試験と課題を総合的に評価する 小テスト 10% 授業内容の理解度を確認するために実施する レポート 10% 授業内容の理解度を確認するために実施する 成果発表（口頭・実技） 20% 授業時間内に行われる発表方法、内容について評価する 平常点 10% 積極的な授業参加度、授業態度によって評価する											
履修上の注意											
授業で使用するデータは各自USBメモリやクラウドなどによって適切に管理すること。説明中や授業と関係のない私語、受講態度などには厳しく対応する。理由のない遅刻や欠席は認めない。課題提出はデータにより行い、コピーなどによる不正な提出データはカンニング扱いとし採点されない。授業時数の4分の3以上出席しない者は単位取得することができない。											
教科書教材											
特になし。適宜オリジナルテキストを配布する。											
回数	授業計画										
第1回	課題説明、複数によるモデリング1 複数によりプロジェクトを進める方法を理解する										
第2回	複数によるモデリング2 複数によるモデリング方法を理解する。モデリングデータ中間提出										
第3回	複数によるモデリング3 複数によるモデリング方法を理解する										
第4回	グループによるモデリング、図面 複数によるモデリング方法をと図面作成方法を理解する【モデリング、図面データ提出										
第5回	数量積算集計表 数量計算表の作成方法を理解する										

2022年度 日本工学院専門学校	
建築学科	
CAD・CG制作	
第6回	数量積算集計表、シミュレーション 数量計算表、シミュレーションの作成方法を理解する【数量計算表データ提出】
第7回	シミュレーション、レイアウト シミュレーション、レイアウトの作成方法を理解する
第8回	発表 成果物の発表
第9回	各種パース表現1 各種パースの作成方法を理解する
第10回	各種パース表現2 各種パースの作成方法を理解する【パースデータ提出】
第11回	各種図面表現1 各種図面の作成方法を理解する
第12回	各種図面表現2 各種図面の作成方法を理解する【図面データ提出】
第13回	各種ダイアグラム ダイアグラムの作成方法を理解する
第14回	各種ダイアグラム ダイアグラムの作成方法を理解する
第15回	発表、まとめ 成果物の発表とまとめ